



読売ジャイアンツ9年連続日本一(V9)メンバーサインパネル  
野球殿堂博物館 所蔵



日本シリーズ優勝記念写真  
野球殿堂博物館 所蔵

1960(昭和35)年秋、川上さんは巨人軍の監督に就任します。チーム強化のために取り入れたのが大リーグ・ドジャースの戦法でした。例えばバントをさせるためにわざと良い球を投げた上で、一塁手、三塁手が猛ダッシュしてアウトを狙うなど、チームプレーをきめ細かく積み重ねて勝利を目指す野球です。日本のプロ野球はスター選手が投げて打つような、個人の能力に頼った勝負が多かったのですが、現役時代に大リーグ野球に触れ、新しい考え方に感銘を受けて取り入れたと考えていました。

選手の意識を変えるために川上監督率いる巨人軍は翌春、ドジャースのキャンプ地アメリカ・ベロビーチに遠征します。自分たちよりはるかにパワーのある大リーガーたちがチームプレーを繰り返し練習するのを目の当たりにして考えを変え

監督として歴史に残る「V9」達成

た選手たちは、猛練習の末、チームプレーを身につけました。川上監督自身は禅寺での座禅を長年続け、監督としての自分を常に見つめ直していたといえます。

長嶋茂雄、王貞治選手(現福岡ソフトバンクホークス取締役会長)らスター選手を中心に、盗塁王の柴田勲選手、リリーフエースの宮田征典選手ら打順やポジションによって選手の役割をはっきりとさせ、選手としての評価も平等にする新しい考え方は日本の野球界に衝撃を与え、現代野球の原型になりました。チーム力が充実した1965(昭和40)年から1973(昭和48)年まで9年連続でリーグ優勝、日本シリーズを制覇、「V9」を達成しました。監督時代11回リーグ優勝し、すべて日本一に輝いています。



©川崎のぼる

引退後は少年野球の発展に力を尽くす



熊本市水前寺野球場 所蔵

巨人軍の監督を引退した後は、少年野球の普及と育成に力を尽くします。自らが子供の頃から猛練習で学生時代に肘を痛めた苦い経験をもとに、子供たちの体を壊さない正しい投げ方、打ち方を熱心に教えました。「野球は楽しい」と思い、長く続けてもらいたいという強い願いからです。1975(昭和50)年から始まった野球教室は海外も含め約20年にわたり開かれ、1回3時間、立ちっ放しで優しく熱心に教え続けました。

生誕の地・人吉市ではその名を次の世代に伝える為、川上哲治生誕100年記念事業実行委員会が様々なイベントを予定しています。

川上さんと親交のあった同美

読売新聞の掲載記事などを再編集しました